

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－加算配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】実施報告書(選定校記載用)

(校園コード 681511)

※校園コードを入力してください。

学校名 古市小学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

1 配付額 989,509 円 → 決算額 987,208 円

2 自校の現状・課題(※小・中学校においては、学力課題に限定)

学力向上については、校内研究の国語科の取り組みや自然発生的な授業の充実によって、国語科では特に書く力に向上が見られた。しかし、H30学力経年調査の結果では、好結果だった昨年度に比べて数値は減少している。同一集団の国語における経年比較(H29・H30)では、4年(105.6→101.8)5年(104.5→100.4)であった。大阪市平均は上回っているが、数値が伸びていないことを課題としてとらえている。国語正答率度数分布や領域や観点別の正答率などの分析をすると、読む力の育成に取り組むことが国語全体の数値の向上につながると考えている。高学年になるほどその傾向は顕著であり、H30の5年生では、領域「読むこと」の平均正答率は校内(66.6%)市(66.2%)、観点「読む能力」の平均正答率は校内(65.1%)市(64.8%)であった。また、H30学力経年調査における質問紙調査「読書は好きですか」の項目については、5年生の肯定的な回答は3ポイント下回っている。普段から本に親しむ機会を増やし、読むことに慣れることが大切であると考え、一つの方策として学級文庫に物語文を整備をす

3 年度目標(※小・中学校においては、学力向上の目標を記載すること)

＜全市共通目標＞

①平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

②平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も1ポイント減少させる。

目標に対する達成状況(取組完了時)

①平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点が、同一母集団で比較し、前年度より向上していない教科も各学年で見られた。

②平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が、市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較して、5年生では1.5ポイント、6年生では1.1ポイント減少した。しかし、4年生では2.9ポイント

達成

B

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

「書く

力」「読む力」の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善を行う。「読む力」を育成することで個人内の思考力が働き、自分の考えを書いたり、発言したりすることにつながる。そこで、全学級の学級文庫を充実させ、まず、読書に親しむ環境を整備し、読書に対する関心を高めるきっかけをつくりたい。

5 年度目標に応じた事業効果を測る指標(期待する効果等)

指標に対する達成状況(取組完了時)

主教員が研究授業、公開授業を行った。子校アンケートにおける「子校の友達との間で話し合った活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の問いでは、前期と後期のアンケート結果を比較すると低学年85%→89%、高学年76%→83%と、対話的な学びに対して向上

達成

A

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続		学級文庫の活用						
効果検証	↑ 年度初めアンケート					↑ 経年調査・アンケート		↑ 年度末アンケート	

【裏面に続く⇒】

取組

1

(校 園 コー ド 681511)
学 校 名 古 市 小 学 校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ・国語の学力向上のため、全学級の学級文庫の整備を図り、「読む力」の育成と読書に対する関心を高める。			B
予算内訳 18-3 1年 おしりたんてい14巻セット @17,234×3=51,702 18-3 1年 ムーミンお話絵本9巻セット @12,600×3=37,800 18-3 1年 谷川俊太郎絵本5巻セット @7,500×3=22,500 18-3 1年 ぞうのエルマーシリーズ20巻セット @24,000×3=72,000 18-3 2年 あらしのよるに7巻セット @10,584×2=21,168			
期待される効果 本校は国語科の研究に2年間取り組んでいる。子どもたちに「読む力」を育成するためには、読書に親しむ環境を整えることが有効であると考えた。図書室での本の貸し出しを活用するだけでなく、各学級に設置する学級文庫の充実を図りたい。現在、学級に設置されている本は古く傷んでいる本が多い。したがって、子どもたちがすすんで本を手にとって読みたいという気持ちを喚起できる状態ではない。各学年の子どもの実態に合った読み物を中心とした本を整備することで、読書に対する関心を高めると			

(2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続 学級文庫の活用								
効果検証	↑ 年度初めアンケート					↑ 経年調査・アンケート		↑ 年度末アンケート	

(3) 取組内容に対する中間報告

- ☒ スケジュールどおり実施できている。
☐ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)

[大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

(4) 取組内容に対する決算内訳

決算内訳	
18-3 レオ・レオニの絵本セット	@25,880×1=25,880
18-3 斉藤洋の日本むかし話	@6,896×1=6,896
18-3 日本の昔話えほん	@8,210×1=8,210
18-3 ねこごかなセット	@10,820×1=10,820
18-3 にじいろのさかなの本セット	@11,822×1=11,822

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

取組

2

(校園コード 681511)
学校名 古市小学校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
予算内訳		
期待される効果		

(2)取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み									
効果検証									

(3)取組内容に対する中間報告

- ☐ スケジュールどおり実施できている。
☐ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)
[大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

--

(4)取組内容に対する決算内訳

決算内訳

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

取組

3

(校園コード 681511)
学校名 古市小学校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
予算内訳		
期待される効果		

(2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み									
効果検証									

(3) 取組内容に対する中間報告

- ☐ スケジュールどおり実施できている。
☐ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(☐ 他責・☐ 自責)
[大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

--

(4) 取組内容に対する決算内訳

決算内訳

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

取組

4

(校園コード 681511)
学校名 古市小学校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
予算内訳		
期待される効果		

(2)取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み									
効果検証									

(3)取組内容に対する中間報告

- ☐ スケジュールどおり実施できている。
☐ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)
[大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

--

(4)取組内容に対する決算内訳

決算内訳

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。